

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 市丸 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されることがないように、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

- 「体育の授業は楽しいですか。」では、全ての児童が肯定的な回答をしている。その理由として、「できなかったことができるようになったとき」「記録に挑戦したり、記録があがったり、競い合ったりしたとき」が楽しいと回答した児童が100%だった。体育の授業や朝の運動タイムで自分や学級の記録に挑み、達成感を得られていることがわかる。
- 「体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている。」では、肯定的な回答が100%だった。
- テレビやゲーム、スマートフォンといったメディアに触れる時間が長い傾向がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 引き続き各学級で「北九州市体力向上プログラム」を参考にしながら、児童の実態に応じたためあてを設定し、個の課題に応じた練習方法や場作りの工夫をすることを通して、児童が「体育の授業が楽しい」と感じたり、「記録が伸びてうれしい」と感じたりする授業を行う。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 「朝の運動タイム」の取組を継続し、ランニング・大縄跳び・キャッチボールを通して、体を動かすことの楽しさやよさを感じさせ、基礎的な運動能力の向上に努める。
- 大縄跳び大会やキャッチボール大会を開催し、みんなで記録の向上を目指す機会をもつことで、友達と一緒に体を動かす楽しさや、目的意識をもって協力するよさを感じさせる。